



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

1月 2021年度 通巻 375号

()



会長 東 裕二	クラブ会長主題 「つながりを大切に」
副会長 小関京子	国際会長主題 Jacob Kristensen (デンマーク)「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
書記 大澤和子	アジア会長主題 David Lua(シンガポール)「変化をもたらそう」
会計 澁谷弘祐	東日本区理事主題板村哲也 (東京武蔵野多摩)「変化を楽しもう」
	関東東部部長主題 柿沼敬喜(東京グリーン)「学びと親睦を糧に外へ向かおう」

今月の聖句

「あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深い者となりなさい。」
ルカによる福音書6:36

1月例会プログラム (ハイブリッド例会)

日時 2021年 1月16日 (土) 18:00~20:00

場所 (公財) 埼玉YMCA所沢センター

司会

1. 開会点鐘
2. ワイズソング
3. ワイズの信条
4. 聖書
5. 卓話

小関メン

東会長

「親と暮らせない社会的養護下にある子供たち」
社会福祉法人同仁学院 乳児院さまりあ川染智子施設長

6. ワイズ報告
7. 誕生・結婚記念
8. にこにこ
9. 閉会点鐘

東会長

渋谷メン

東会長

※ コロナ終息までの会食はいたしません。
ご自分の飲み物をご持参ください。
会費500円、お土産は颯塾扉クッキー

今後の行事予定

- 01/16 (土) 18:00 1月例会
- 02/13 (土) 18:00 千葉クラブと合同例会
(卓話: 黒田さん予定)
- 03/13 (土) 18:00 3月例会

入院して考えたこと

上山武夫

私は9月14日に通勤中、自転車で転倒し、左脛骨近位端骨折、左腓骨骨折し3ヶ月間入院することになりました。

最初は1ヶ月ほどで退院できるかなと思っていましたが、一番やっかいな箇所を骨折したようで。骨折した左足をついてもよくなったのは1ヶ月半後でした。人間の体って動かいと筋肉がみるみる低下します。体重が10kg減りました。12月14日に退院し12月23日より仕事に復帰しました。まだ左足の浮腫はとれず、杖をつかっての歩行になります。

入院している間に、コロナの感染者数がどんどん増え社会が大変なことになってきました。私が相談を受けていた重度の障害児に入っているヘルパーさんがコロナに感染してしまい

そのご本人、ご家族が濃厚接触者になり(陰性であった)2週間外出自粛で自宅での生活になったと連絡が入りました。志村けんさんがコロナで亡くなった第1次コロナ感染騒動でも身近にそのようなことは起こりませんでした。つくづくコロナ感染が広がっていることを身にしみました。コロナの感染禍でわかっているだけで、7万人以上のかたが雇止めにあっている。実際はもっと多くの方がいると思われる。ローンが払えず自宅を売却したいという相談が不動産屋に4月の10倍ぐらい来ているそうです。この困難な状況の中で政治の劣化が一番感じます。首相、幹事長が70代男性の国である日本、かたやフィンランドは34歳の女性が首相、その他の閣僚も40代のかたが多くいる。

やはり今までの経験だけでは対応できないこの状況にはフレキシビリティな考えを持った若い力が必要だと思います。

それともうひとつ、これから世界が変わっていくなあと思うのは、SDGs の話題が新聞等に
取り上げられていることです。今年になって特に目につくようになった。

SDGs とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。

SDGs は 2015 年 9 月の国連サミットで採択され、2030 年に達成するために掲げた目標です。17 の目標とそれを具体化した 169 のターゲットがあります。

そして「誰ひとり取り残さない」という共通理念のために世界が動いています。

フードバンク活動も学習支援も 17 の目標のいくつかに関わっています。そして Co2 削減にかかわるエネルギー問題や環境問題で全世界の企業がいろいろな対策を取り始めた。日本でも最近、2030 年半ばに、ガソリン車禁止という話が出たりして、大きく変わってきています。誰ひとり取り残さない社会の理念は社会福祉関係に携わっていた者としては当たり前のことであった。その理念が一般社会に浸透すれば、社会は大きく変わっていきます。

2021 年にコロナウイルス騒動がしずまれば、世の中の価値観が大きく変わっていくと思います。年をとってもいつまでもフレキシビリティな考えをもって頑張りたいと思います。

準備例会報告 東 裕二

日時：2020年12月12日(土) 16時45分

場所：埼玉 YMCA 所沢センター

参加者：小関さん、大澤さん、澁谷さん

1. ブリテン1月号の内容(担当)
2. 1月例会について
3. 2月例会について
4. クリスマスおやつプレゼントについて

12月例会報告 小関 京子

出席：大澤・小関・小野塚・金本・工藤・宍戸・渋谷・須田・東 以上9名(あいうえお順)



卓話は渋谷メン。「アジア太平洋地域のキリスト教強調事業主任として」のお話し。

難しい問題なのですが、要は、ワイズメンがキリストの教えを認め(キリスト教であるかどうかは問わない)教えを受け入れることで、イエスの言葉を行動に移す準備が出来るのであるということです。

クラブとしての運営形態について、ワイズメンの意思決定のガイドラインとなります。

YMCA が伝道団体ではなく、運営形態としてのキリストの教えに基づいた組織であるので、ワイズもイエスを信仰の対象とすることでは無く、イエスを人生の師として認め、奉仕活動の模範とした精神を継承するのです。

学生時代にミッションスクールで過ごした仲間達も頷きながら、学ぶことが出来ました。

イエスの「恵と真に満ちた」(ヨハネ 1:14)生き方に従い、活動を続けましょう。

ワイズ報告 東 裕二

地域の子供たちにお菓子をプレゼントする(クリスマスおやつプレゼント)を実施しました。埼玉 YMCA、夢はうす、狭山キリスト教会の3か所で配布し、200人の子供たちへプレゼントを届けることが出来ました。

NPO 法人フードバンクネット西埼玉、特定非営利活動法人颯埜扉、公益財団法人埼玉 YMCA、その他に様々な企業様の協力を頂きありがとうございます。



おいしいお菓子がいっぱい!!

YMCA クッキーを特定非営利活動法人颯埜扉で作っていただきました。その他のお菓子は、NPO 法人フードバンクネット西埼玉を通して、明治製菓やロッテからいただきました。



↑ 12月18日（金）NOP 法人街のつながり推進室
夢はうすで



↑ 12月23日（水）から26日（土）埼玉YMCAで

ママからのお礼のお手紙を紹介いたします。「コロナ渦の寒い中、クリスマスおやつ企画ありがとうございました。おやつの内容も子供が好きなお菓子で喜んで食べてます。私も皆さんの温かい気持ちにほっこりしました。」

・2月の例会は千葉クラブとZOOMでつながる合同例会を行います。千葉、所沢ともに会場とZOOMのハイブリット型の例会を合同で行う所沢クラブとしては初めての試みです。卓話は生活困窮者支援の団体「サマリア」の代表で所沢クラブの黒田さんです。今からとても楽しみです。

YMCA 報告

央戸 誠一

2020年のプログラムも無事に終了をし、新たな年に向けて進んでいます。

所沢センターは1月4日(月)より一部のプログラムが行われます。

また、2021年度の継続手続きが1月11日(月)より始まります。



12月19日（土）日本宣教会 狭山キリスト教会で

12月例会

所沢クラブ 8人 ゲスト 1人 合計 9名